

優れた翻訳を生み出す

人間参加型 (ヒューマンインザループ) の AI 翻訳

生成系 AI や大規模言語モデルの進歩には目を見張るものがありますが、優れた翻訳を生み出すには、人間の知識とマシン インテリジェンスを融合して活用することが重要です。

今や生成系 AI (GenAI) や大規模言語モデル (LLM) のテクノロジーは目覚ましい進歩を見せていますが、優れた翻訳を得るには人間参加型 (ヒューマンインザループ) の AI 翻訳が不可欠です。

生成系 AI/LLM によって翻訳の効率と費用対効果は向上します。しかし、人間による管理なしに完全に信頼することはできません。

また、AI/LLM 単独では自律的に動作することができないことから、人間の介入は必要になります。この中で人間は「AI トラスト」のギャップを埋める役割を果たし、機械は人間がこれまで以上の創造力を発揮するための支援を担います。AI と人間の両方の力があってこそ、求める品質レベルの翻訳が生み出されます。

生成系 AI によるローカリゼーションの主な 5 つの課題と、人間参加型アプローチの活用

テクノロジーは、人間が新しいコンセプトを考え出す力を強化して支援することはできますが、人間の想像力に取って代わることはできません。ライオンブリッジでは、当社のローカリゼーション エンジニア チームが最近行った LLM に関するテストから、LLM に伴う主な 5 つの課題と、「ヒューマンインザループ」、つまり人間が参加することの重要性を明らかにしました。

課題 1

一貫性の確保

生成系 AI/LLM の弱み

生成系 AI/LLM テクノロジーは、プロンプトが数百語程度に抑えられている場合に最適に機能するため、量の多い複雑なプロンプトは分割する必要があります。この制約により、一貫性のない翻訳結果がある程度出力されることがよくあります。

人間の介入

プロのレビュー担当者が自動出力の結果全体をレビューすることで一貫性を確保できます。

課題 2

言語資産の活用

生成系 AI/LLM の弱み

LLM は、本質的に翻訳メモリ (TM) や用語集、専門用語のリストを備えていません。特定の用語や表現、ブランド ボイスを使用するには、一連のプロンプトを使用してこれらの要素を取り入れる必要があります。

人間の介入

トレーニングを受けた担当者が一連のプロンプトを通じて、案件に応じた複数の用語集や指示を指定することにより、ブランド ボイスの一貫性を確保できます。



課題 3

プロンプトの作成

生成系 AI/LLM の弱み

プロンプトを作成するのは LLM ではなく人間です。LLM では効果的なプロンプトを生成できません。プロンプトの作成は有効なパフォーマンスを得るための第一段階であり、重要な要件です。

人間の介入

適切なスキルを持つプロンプト エンジニアであれば、プロンプト テンプレートの開発、プロンプト再利用の自動化、ワークフローを最適化するための後処理プロンプトの実行が可能です。

課題 4

効果的なプロンプトの再利用

生成系 AI/LLM の弱み

人間の介入なしに、LLM が望ましい結果を得るためのプロンプトを再利用したり反復利用したりすることはできません。

人間の介入

適切なスキルを持つ専門家であれば、有効性が実証された多数のプロンプトの管理と再利用、必要に応じた指示や用語集の指定を行うための、洗練された専用プラットフォームを構築できます。ライオンブリッジでは、プロンプトを効果的に再利用するためのプロンプト イテレーションプラットフォームを設計して活用しています。

課題 5

組織全体で複雑なタスクを実行するための LLM の拡張性

生成系 AI/LLM の弱み

LLM は高機能のサポートを大規模に提供できますが、翻訳はこの限りではありません。現時点で、LLM はスピード、品質、コストの面で 5 つの主要ニューラル機械翻訳エンジンにはかないません。

人間の介入

AI 専門家はテストを通じて、時間短縮、負担軽減、コスト削減を達成するうえで、翻訳メモリとニューラル機械翻訳を併用する既存のワークフローのどの段階に、どのように LLM を組み込むべきかを判断します。当社の専任 AI チームは、LLM と既存のワークフローとの統合に関して豊富な実績を持っています。

人間の役割

人間に期待される 3 つの重要な役割

マシン インテリジェンスによって人間は単純な反復作業から解放され、より創造的な作業に取り組む余裕が生まれます。

人間の創造力は、次のような形で AI 活用型ソリューションを支援します。



コンテンツの立案

人間が立案することからコンテンツ制作プロセスが始まります。



コンテンツの検証

人間が正確性、安全性、信頼性を確保します。



コンテンツの分析

人間がモニタリングを強化し、パフォーマンスを向上させます。

ライオンブリッジが選ばれる理由

「信頼の時代」とも言われる今日、ライオンブリッジでは、急速に進化するこのテクノロジーを活用してお客様の目標達成を支援する当社の能力と、AI 翻訳自体に対するお客様の信頼獲得・強化に焦点を当てて日々尽力しています。お客様の目標がコスト削減、サービスの迅速化、品質向上のいずれであっても、LLM を通じた日常的なタスクの負担軽減や QA チェックの実施など、AI を活用したより良い翻訳の提供に取り組んできた当社が、お客様のニーズに最適なソリューションをご提供いたします。

ライオンブリッジの特長:

- 特定の AI プラットフォームに限定されないアプローチ、ディープ プロンプト エンジニアリング、望ましいコンテンツを実現するための技術力。
- プロセスのあらゆる工程 (AI/LLM か人間かを問わず) で透明性を確保。
- お客様のコンテンツとそれが最終顧客に及ぼす効果を重視 (ローカリゼーションにおける最も重要な要素)。

ライオンブリッジは 25 年以上にわたり、あらゆる業界の変遷を通じてさまざまなお客様を支援してきました。お客様が AI による業界改革にうまく対応して成果につながられるよう、当社がお手伝いいたします。

お問い合わせ

ライオンブリッジが提供する AI ソリューションや、マシン インテリジェンスと人間の創造力を組み合わせて高い効果を得る方法について、ぜひ当社までお問い合わせください。

LIONBRIDGE